

肥育後期豚へのアマニ油脂肪酸カルシウム給与で背脂肪内層の脂肪酸組成が変化する

輸入豚肉との差別化を図るために、国産豚肉の付加価値を効率的に高める飼養管理技術の開発が求められています。アマニ油脂肪酸カルシウムは、ヒトの健康維持に役立つとされている α -リノレン酸を代表とする n-3 系脂肪酸を多く含むアマニ油を主原料としており、豚に給与することで豚肉の脂肪酸組成が変化し、消費者ニーズに合った付加価値の高い豚肉生産が期待できます。そこで、佐賀県畜産試験場では、肥育後期豚にアマニ油脂肪酸カルシウムを配合給与した際の脂肪酸組成を中心とした肉質への効果について検討しましたので紹介します。

☆ 技術の概要

1. トウモロコシ、マイロ主体の基礎飼料に対して、アマニ油脂肪酸カルシウムを 1.15%配合給与しても、肥育豚の発育成績は対照区と同等の成績を示します。
2. アマニ油脂肪酸カルシウム 1.15%配合水準では、肥育豚の背脂肪厚（背）は肥大せずにトウモロコシ、マイロ主体の対照区と比べて同等の枝肉成績を示します。
3. アマニ油脂肪酸カルシウムを 1.15%配合給与することで、背脂肪内層中の α -リノレン酸の割合が高くなるとともに、n-6 系脂肪酸/n-3 系脂肪酸比は顕著に低くなります。

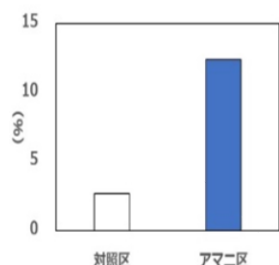


図1 試験飼料中の α -リノレン酸含有率



図2 給与風景



図3 ロース肉

☆活用面での留意点

1. アマニ油脂肪酸カルシウムは、飼料会社からの購入が可能です。
2. 近年の健康志向を反映して、豚肉中の n-6/n-3 比の低下は消費者の購買意欲に影響を及ぼす重要な指標であり、豚肉の高付加価値化が期待されます。
3. 詳しくは、佐賀県畜産試験場・中小家畜部・中小家畜研究担当 大曲 秀明 (TEL0954-45-2030) に問い合わせ下さい。